

憲法第二十五条
【生存権、国の社会的使命】

- 1 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- 2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

ふくしま



医療生協

2011年6月号 第329号
発行責任者 渡辺 幸夫
http://www.fmc.u-coop.or.jp

福島医療生活協同組合 TEL 024-522-1236
〒960-8141 福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院 TEL 024-521-2056
〒960-8141 福島市渡利字中江町34番地



相談を受ける医療介護相談室スタッフ

医療生協わたり病院は、 無料・低額診療をはじめます

福島医療生協理事長 平 範男

七月一日よりはじめ、無料・低額診療事業は、社会福祉法に基づき、生活困難者のために医療費の一部負担金を無料、または低額にする事業です。県北地域では、済生会福島総合病院に次いで二番目の実施医療機関となります。

病气なのに病院に 来れない人急増

度重なる医療保険制度改悪・患者負担増による受診抑制、構造改革・規制緩和などによって、生活保護水準を下回る家庭が急増しています。一部負担金を支払うことができず、医療機関にかからず重症化、さらに死亡症例があとを絶ちません。(全日本民主医療機関連合会調査二〇一一年三月二日)「無保険や経済的理由で受診できず、七十一人死亡」記者会見発表。表1。わたり病院においても医師が必要な検査治療をすすめても経済的理由でそれを断る方が増加しています。入院の必要な病状でも断る

ケースも…

この事業は私たちの使命

経済的理由で医療機関を受診することができない。しかも、このことで命をなくすことはあってはならないことです。わたり病院がこの事業をはじめるとは、わたり病院の求められる役割からも極めて重要な意味を持つっており、受診機会を奪われることのない社会的制度の前進を求めていきます。

地域にお知らせください

この事業を成功させるためには、私たちの支部や班でのつながりを活かした、地域のみなさんへの周知が必要不可欠です。組合員のみならずのご理解とご協力を心から訴えます。

無料または、低額診療事業の 主な内容

① 一部負担金の減免の基準
世帯収入が生活保護法に

よる生活保護基準の二四〇%以下の方を対象とします。また、病院長が減免することを必要と判断した場合とします。

② 減免適用の範囲

公費医療 福祉医療等の公的助成適用者を除き、健康保険が適用される診療範囲内にて発生する自己負担金及び食事療養費標準負担額とします。

③ 減免率

(ア) 世帯収入が、生活保護基準の二二〇%未満の場合一部負担金の一〇割を減額します。

(イ) 世帯収入が、生活保護基準の二二〇%以上二四〇%以下の場合一部負担金の五割を減額します。

(ウ) その他、病院長の判断による減免率を決定する場合とします。

④ 減免の期間
原則三ヶ月以内とします。

無料または低額診療事業について、また医療費のことでお困りの方は、わたり病院受付窓

口または医療介護相談室までご相談ください。

表1 経済的困難で死亡事例調査

年代	正規の保険証	短期保険証	資格証明書	無保険	合計
30代				1	1
40代	2	2	2	3	9
50代	9	4	3	4	20
60代	13	4	2	12	31
70代	3			4	7
80代	2			1	3
合計	29	10	7	25	71

全日本民主医療機関連合会調査
2011年4月「いつでも元気」より

期待の 声



丹波史紀さん
福島大学教員・
反貧困ネットワークふくしま
共同代表

この度福島医療生協が無料低額診療事業を開始されることを聞き、心から期待いたします。格差と貧困が社会問題となる中で、この事業が福島で始められることの意義は非常に大きいと感じています。

福島市や郡山市などを中心に路上生活を余儀なくされている方への支援活動を五年以上続けていますが、県内でも百五十人以上の方々が路上から畳の上にあがった生活をしてい

はたらく姿 No.2

これからも自分たちのできる
最大限のことをしたい

透析室室長 関口行洋



写真提供:スポーツニッポン福島支局

震災時、断水しても地下水使用可能の当院は48名の透析患者を受入れた。上のコメントは、記者の質問に対し答えたもの。

※このコーナーでは、福島医療生協で働く人々にスポットをあて、ご紹介していきます。

ます。いまだ路上生活者への生活保護適用のハードルが高い中で、路上生活者が社会保障制度につながる最初のきっかけの多くは医療です。

また、全国的に国保の無保険状態にある方々が百三十万人以上いますが、こうした人たちにとって、医療へのアクセスをためらい、かえって病気を悪化させかねない状況の中で、少しでも医療へのアクセスをしやすい環境を整えることは大事なことです。その点で、この無料低額診療事業はまさに今日的にさらに必要性が増している事業だと思えます。

※福島医療生協は反貧困ネットワークふくしまの加盟団体です。

東日本大震災に見た、福島医療生協の力

大震災発生から、組合員・職員全員が、自分に何ができるか問いかけ頑張りました。同時に、福島医療生協の組合員・職員で良かったと実感した瞬間も数多くありました…。

東高校で十八日間 炊きだし支援



福島医療生協 副理事長 西元幸子

看護部の発案で炊きだし班が組織された。私も何か役に立ちたいと思っていた矢先、早速職員と共に参加させてもらった。三月二十二日から、中央・渡利・もちずり支部の組合員も参加し、十二〜三名体制で、東高校の避難所で連日昼食の炊きだしを実施した。一時間半でおかゆ・おじやスープ・主菜・副菜など仕上げた。改めて主婦のパワーに感動した。豊かな食事づくりが出来たのは、全国の農民連のみなさんからの新鮮な野菜、全国の医療生協からの缶詰類などの食材が豊富であったから。私たちは、全国の素晴らしい仲間を支えられている事を実感した。

避難所に 在宅サービス導入



やまなみ介護支援事業所 所長 加藤仁美

大地震後いち早く、健康チエックの往診をしていたいいの診療所から連絡あり。避難所となっている飯野町の体育館に、地域包括センターの職員と共に直行しました。そこには、相馬から来た八十歳のS子さんが、かたい床の上で横になっていました。褥瘡(じよくそう)ができています。ただちに、福島市長寿福祉課の了解を得て、業者に電動ベッドの搬入を依頼。避難所に在宅サービスを提供することができました。ベッドでS子さんの仙骨部の褥瘡は数日後には改善しました。迅速に対応できたのも、避難者のために、いいの診療所・地域住民・業者

行政職員全員が一致団結したこと、日ごろの支援ネットワークが機能したおかげです。

僕が見た震災と、これからの事



医療介護相談室 熊田貴史

私自身、地震後よりガソリン不足の問題もあったため、病院に連日泊まっていた。そこで私が目にしたものは、昼夜問わず受診のために来院される方たち、入院中に地震が起こり不安になっている患者さんたちの対応を必死にしている職員の姿でした。その職員一人も家族の安否も確認できない中で不安だったと思います。その中で、全国からの支援物資、ボランティアの方の協力は大変励まされ、勇気が出ました。今現在も、避難されている方で体調を崩され、入院される方がいらっしやいます。不安も話されています。その方たちに自分達が何ができるのかを考えながら、がんばっていききたいと思えます。

～まちに元気・勇気、がんばっぺ福島～

5/14 駅前健康チェック開催



五月十四日(土)に駅前健康チェックを実施いたしました。今年のWHOのテーマとはかけ離れてしまいましたが、「がんばっぺ福島」を合言葉に、東日本大震災のための義援金のご協力を呼びかけ、通行人のみならずの血圧や体組成など測定しました。人数は一昨年と比べ少なく、三分の二程度でした。測定している間に、原発の不安を訴える方の話を聞くなど、心のケアも出来たような気がします。また、活動に参加した組合員も互いの無事を確認するとともに、地震や原発の話をする事でストレス解消ができたように思います。



がんばって 原水禁代表者が決まりました。

2011年原水爆禁止世界大会長崎大会が8月6日～9日に行われます。

今年は福島医療生協から3名が参加します。みなさんのご声援をよろしくお願いします。



中央支部 後藤カネ子さん



健診センター 関場和史さん



南3階病棟 佐々木真弓さん

原発の恐怖を伝え、核兵器のない世界へ手をつなぐ

今年の原水禁世界大会は、昨年NPT(核不拡散条約)再検討会議での合意をさらに具体的に進めるための重要な大会です。そして、世界各国が3月の大震災・原発事故の被災者を見つめる中での大会でもあります。この大会を成功させることは、世界の運動に希望と勇気を与えるものです。原発の恐ろしさを目の当たりにした私たちが、だから、「核」の脅威を世界の人々に知らせ、「核兵器のない世界」にむけて手をつなげていくことができます。

今年の長崎大会では、原発問題の分科会が2つあります。大いに学べる大会となるでしょう。



原水爆禁止福島県協議会 事務局長 石堂祐子さん

めざせ 福島医療生協人!

～2011年度新入職員紹介～

今年は、看護師12名・言語聴覚士1名・理学療法士2名・臨床工学技士2名・事務6名、あわせて23名のあたらしい仲間が増えました。震災の影響で入職時研修は2回に分けて行いました。現在は、現場で無我夢中でがんばっています。



◀西元幸子副理事長と蓬萊支部 松井貞子支部長とともに、はじめての地域訪問。

入職時研修



訪問先のみなさんの、はげましの声が温かく、うれしい。

わたり病院



看護師 南4階病棟
荒香奈枝



看護師 南4階病棟
高橋良子



看護師 南4階病棟
若林沙織



看護師 南4階病棟
邊見恭兵



看護師 南3階病棟
阿南由希



看護師 南3階病棟
阿部ことえ



看護師 南3階病棟
氏家俊哉



看護師 南3階病棟
菅野麻比



看護師 南3階病棟
坂田まりな



理学療法士 リハ室
木幡修



理学療法士 リハ室
紺野聖



看護師 南2階病棟
井上真実



看護師 南2階病棟
紺野明子



看護師 南2階病棟
峯晶俊

組合員のみなさんへ 外来医事課 渡邊 学

私たち、新入職員23名は、福島医療生協の一員になる事ができました。まだまだ未熟でご迷惑をおかけしますが、早く自立できるように一生懸命がんばります。今後ご指導よろしくお願いします。



言語聴覚士 リハ室
橋本千賀子



事務 組織部
中嶋清貴



事務 組織部
三浦真弥



事務 外来医事課
渡邊学



事務 検診課
関場和史



事務 診療事務課
山家充召



事務 入院医事課
新田愛実



臨床工学技士 透析室
佐藤正悟



臨床工学技士 透析室
早川千尋

乳がん検査についてのお問い合わせは
わたり病院健診センター
五三二―三四四六

Q&A

特集

続・乳がんをもっとよく知ろう



わたり病院 外科医師
佐藤祐治

先月号に引き続き、わたり病院外科医 佐藤祐治先生にうかがいました。

Q1 乳がんの予防法はありますか？

A 癌は、完全に出来なくすることは出来ません。が、癌を予防する十ヶ条が参考になると思います。

Q2 乳がんのしこりとはどのようなものですか？ 見てわかりますか？

A 乳がんのしこりは、初期には、見てもわかりません。触診でわかる程度です。見てわかるような、しこりでは、進行がんになってしまっています。

Q3 どこにできやすいですか？

A 四分割をして、上・外側といわれています。しかし、乳房のどこにでも出来ますし、正常乳房以外にも「副乳」と言われる部分にも乳がんの発生を認めることもあります。乳房全体と副乳があればそれも含めた触

診が必要です。

Q4 乳がんは、遺伝しますか？

A 遺伝性は、あると言われています。

Q5 片方の乳房に痛みがありますが、がんは痛いのですか？

A 早期のがんであれば、痛みはないはずです。進行乳がんになっても痛みはひどくありません。

Q6 乳がんは乳房全部を取ってしまうのですか？

A 早期の癌では、乳房の一部(一/四以下)を切除して、形は小さくなりますが、乳房を残すことができます。

Q7 妊娠授乳中は乳がんになりませんか？

A 妊娠授乳中でも可能性は低くなりますが、乳がんは発生します。


Q8 乳がんの検診は生理の時期などには関係ありませんか？

A 生理中でも乳がん検査は、可能です。が、マンモグラフィでの痛みが強くなったり、レントゲンの写りが悪くなるのが予想されます。

各支部・ブロックで放射線の学習会を開催

大規模地震後起きた、原発事故による放射線の恐怖でおおくの人々が不安にさらされています。そんな地域の人々に放射線の正しい知識を身につけ、正しく対応してもらおうと、福島医療生協の各ブロック・各支部及び、福島医療生協が加盟する、ふくしま・だて・二本松の復興共同センター主催で放射線の学習会が各地で開催されています。

4/17 蓬萊支部 140名



医療生協わたり病院
医局長 **渡部朋幸先生**

わたり病院医局長 **渡部朋幸医師**

蓬萊支部では、同じ蓬萊に住む渡部朋幸先生に講師を依頼。飽きさせない、分かり易い説明が大変好評でした。

参加者の感想 霊山支部 齋藤文子さん

放射線は私達の感覚でとらえることはできません。原発は事故後、依然として放射性物質を放出し続けています。とんでもない事です。誰もが不安の日々を過ごしています。

下小国中央集会所には超満員の150人が詰めかけました。福井県からかけつけて下さった平野先生は、わかりやすい優しい語り口で充実した学習会でした。事故の一日も早い収束のために、命の守り手としての医療生協の運動が求められています。

4/23 西ブロック 180名



わたり病院 **齋藤紀医師**

地震後いち早く、西ブロック会議で齋藤紀先生の学習会開催を決定。会場の成川集会所は、収容率200%の超満員でした。

5/4 大笹生笹谷支部・平野余目支部(合同) 180名



北海道勤労者医療協会
中野亮三先生

講演には、浜北医療生協(静岡)間間元先生も同行。次は静岡かもしれない。浜岡原発を抱える浜北医療生協は、4度もトラックで支援物資を届けてくれました。

5/4 飯野支部 180名



(熊本県)くわみず病院附属
平和クリニック院長 **牟田喜雄先生**

住民の心配や疑問に応えようと、当生協が加盟している全日本民主医療機関連合会は、全国の放射線医学に携わる医師を福島県に派遣しました。

5/3 霊山支部 150名



福井医療生協 **平野治和先生**

平中支部長・菅野運営委員が中心となって、班員・組合員を通じて、広く地域のみなさんをお誘いし、開催されました。義援金も募りました。

保原支部でも5月28日に、いいの診療所松本純先生を講師に学習会を開催。6月には、渡部朋幸先生を講師に吉井田支部・あづま支部・松川支部で行う予定です。

INFORMATION

これからの行事

6月~7月

どうぞご参加ください

無料法律相談会

- ◆日時/6月 9日(木) 13:30~15:30
- ◆場所/心療内科診療室
- ◆日時/7月14日(木) 13:30~15:30
- ◆場所/心療内科診療室

ふくしま復興共同センター主催 原発事故全県集会

- (名称・詳細未定)
- ◆とき/6月25日(土)
- ◆場所/街なか広場

原水爆禁止 国民平和大行進

- ◆日時/6月27日(月) 8:40
- ◆集合場所/わたり病院

医療福祉生協の情報誌

COMCOM購読のおすすめ 夢は読者会の実現

全国の医療生協の多彩で、創意性のある取り組み、インタビュー、特集など、そのいずれもが学びで満載、わくわくです。活動の指針・暮らしに楽しみを与えてくれる、comcom。おすすめです。



清水北支部運営委員
鈴木シズ子さん

年間12回発行
定価400円(税込み) 年間4,800円

購読の申し込みは、医療生協 組織部まで

TEL. 522-1236



神戸医療生協いたやどクリニックから贈られた、くまのプーさん。(いいの診療所)

近畿ブロックの医療生協を中心とする有志のみなさん十八名が、五月二十三日、わたり病院を訪れました。セレモニーでは、激励の横断幕・寄書きが紹介されました。神戸医療生協中畑ゆかり常務理事は、「阪神淡路大震災の時、全国のみなさんに支援を頂きました。今度は私たちの番です。頑張ってください。これからも応援していきます。」とあいさつ。最後に、丹治伸夫院長に正義の味方、アンパンマンのフェルトバッチが送られました。

関西のみなさんが激励に来福